

RICOH

工事写真管理システム

工事写真館

使用説明書

【設定操作編】

ご使用前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。



はじめに

このたびは、リコーITソリューションズ「工事写真館」をお買い上げいただき誠にありがとうございました。「工事写真館」はデジタルカメラから取り込んだ写真をドラッグ&ドロップ操作により、実際に写真を扱う感覚でアルバムを編集することができるソフトウェアです。

本書は、本製品の設定操作に関する操作手順や取り扱い方法について説明しています。本製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用前に必ず本書をお読みください。またお読みになった後は大切に保管してください。

リコーITソリューションズ株式会社

*** 重要 ***

- このソフトウェアおよびマニュアルの1部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- ソフトウェアは、コンピュータ1台につき1セット購入が原則となっています。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- 大切な文書やデータは、必ずコピー(複製)をとってください。
お客様が操作を誤ったり本製品に異常が発生したりした場合、文書やデータが消失することがあります。
- お客様が本製品を使用して作成した文書やデータに関し、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障による障害、文書やデータの損失による損害、その他本製品の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- ソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしの変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書で扱う用語および操作方法について

本書では、Windowsの標準的な用語および操作方法を使って説明しています。Windowsを使用したことのない方はあらかじめ操作してみるか、あるいはWindowsのヘルプ、マニュアル等をご確認いただくことをおすすめします。

工事写真館とは

「工事写真館」はデジタルカメラから取り込んだ写真を、ドラッグ&ドロップの簡単な操作により、実際の写真を扱う感覚でアルバムを編集することができるソフトウェアです。

アルバムレイアウトを任意に設定可能なレイアウト作成機能、写真の部分拡大機能が活用できます。

また写真の説明文は用語辞書により、簡単な操作で選択することができ、短時間でアルバムを完成することができます。

また、各種電子納品基準に従ってXML形式のデータを任意のCD-R等の媒体に出力することができます。

補足

デジタルカメラからの写真の取り込みは、ご使用のデジタルカメラの「取り扱い説明書」にしたがって操作願います。

使用説明書の構成

本書は、「アルバムのレイアウト作成」、「ヘッダーのレイアウト作成」等の各種設定に関する操作について説明しています。

本書を含む全ての使用説明書は、PDFファイル化され、「工事写真館」をインストールした後に、スタートメニューから起動することができます。

【使用説明書の名称と内容】

名 称	内 容
工事写真館使用説明書（基本操作編）	「アルバム作成」～「電子納品」までの基本操作の説明
工事写真館使用説明書（設定操作編）	「レイアウト作成」、「ヘッダー作成」等の設定操作の説明（本書）
フォトエクスプローラ使用説明書	フォトエクスプローラ（画面左側）の操作の説明
「営繕工事写真の電子納品」使用説明書	営繕工事写真の電子納品操作の説明
XML入力説明書（国土省土木2004年6月）	「国土交通省工事完成図書の電子納品要領（案）平成16年6月版」のXML項目の入力説明
XML入力説明書（港湾局2005年3月）	「国土交通省港湾局 平成17年3月版ガイドランス」のXML項目の入力説明
XML入力説明書（農水省2005年4月）	「農林水産省工事完成図書の電子納品要領（案）平成17年4月基準」のXML項目の入力説明

目次

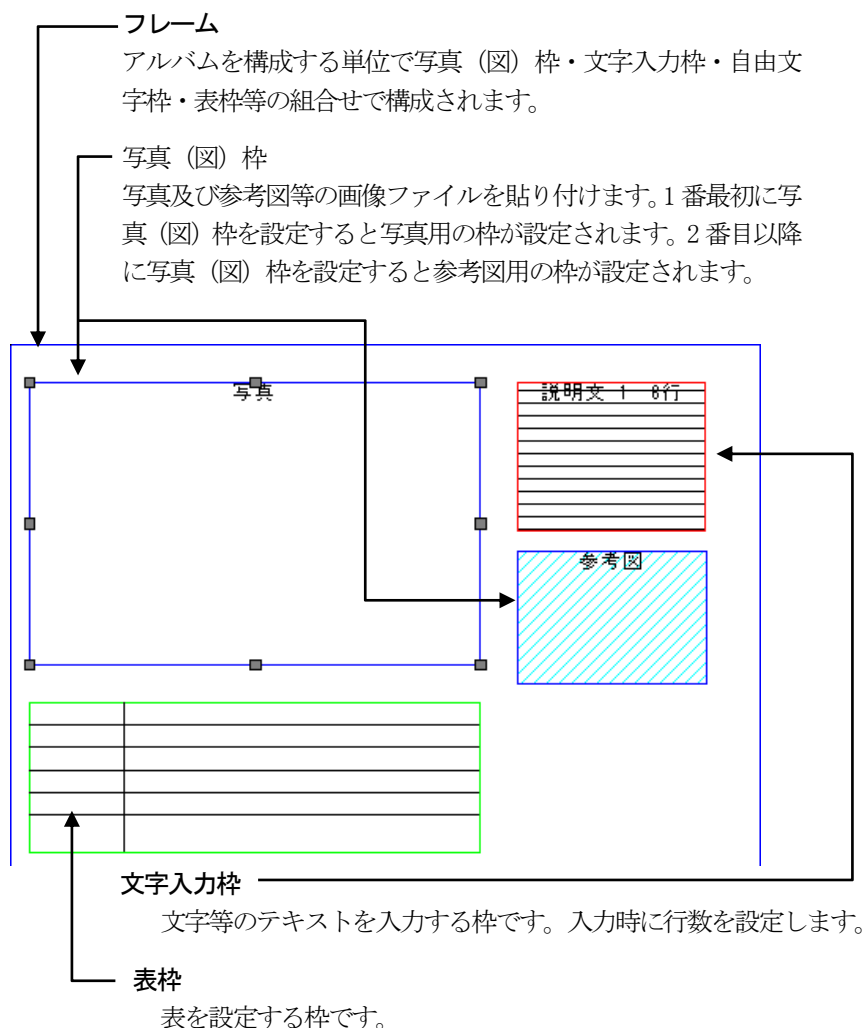
アルバムのレイアウトを作成する	1
写真 (図) 枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠とは	1
新しくレイアウトを作成する	2
作成済みのレイアウトを使って新たに作成する	5
レイアウトを修正する	7
レイアウトの編集をする	9
用紙を設定する (レイアウト)	9
グリッドに合わせて写真 (図) 枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠のサイズ、位置を固定する	10
「フレーム拡大」画面で編集する (レイアウト)	11
グリッド表示してレイアウトを編集する	12
写真 (図) 枠を作成する	13
文字入力枠を作成する	14
自由文字枠を作成する (レイアウト)	15
表枠を作成する (レイアウト)	16
写真 (図) 枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠のサイズ、位置を変更する	17
ヘッダー/フッターを設定する	18
XML連携を設定する	19
写真 (図) 枠を設定する	20
写真 (図) 枠にタイトル枠を設定する	21
写真の縦横比に合わせた写真 (図) 枠を設定する	22
表枠を設定する (レイアウト)	23
レイアウト名を入力する	24
ヘッダーのレイアウトを作成する	25
新しくヘッダーのレイアウトを作成する	25
作成済みのヘッダーレイアウトを使って新たに作成する	26
ヘッダーのレイアウトを修正する	28
ヘッダーのレイアウトを編集する	29
用紙を設定する (ヘッダー)	29
グリッドに合わせて固定画像・表枠・自由文字枠のサイズ、位置を固定する	29
「フレーム拡大」画面で編集する (ヘッダー)	29
グリッド表示してヘッダーレイアウトを編集する	30
固定画像を貼り付ける	30
表枠を作成する (ヘッダー)	30
自由文字枠を作成する (ヘッダー)	31
固定画像・表枠・自由文字枠のサイズ、位置を変更する	31
表枠を設定する (ヘッダー)	32
ヘッダー名を入力する	33
レイアウトデータをコピーする	34
レイアウトデータを保存する	34
レイアウトデータを読み込む	35
レイアウトを変更して別アルバムとして保存する	36
ヘッダー/フッターのみを変更する	38
XML連携設定のみを変更する	39

工事写真館の画面について.....	40
「レイアウト作成」画面.....	40
「ヘッダー選択」画面.....	41
「ヘッダー作成」画面.....	41
メニューについて.....	42
「レイアウト作成」画面のメニュー.....	42
ファイル.....	42
編集.....	42
「フレーム拡大」画面(レイアウト)のメニュー.....	44
ファイル.....	44
編集.....	44
表示.....	45
「ヘッダー選択」画面のメニュー.....	46
ファイル.....	46
レイアウト編集.....	46
「ヘッダー作成」画面のメニュー.....	47
ファイル.....	47
編集.....	47
「フレーム拡大」画面(ヘッダー)のメニュー.....	48
ファイル.....	48
編集.....	48
表示.....	48

アルバムのレイアウトを作成する

写真（図）枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠とは

レイアウト作成にあたり、写真（図）枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠についてそれぞれ説明します。



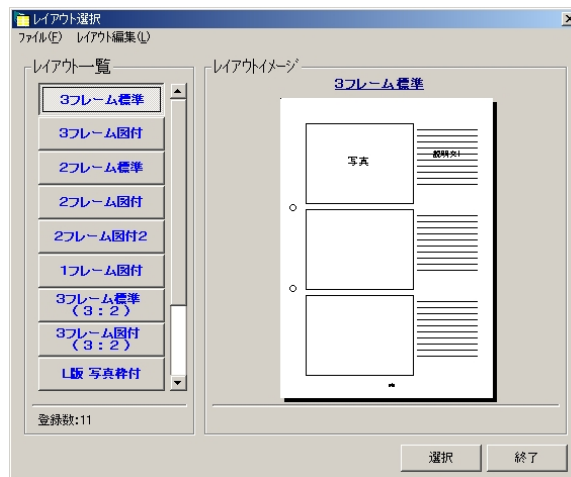
補足

- ・作成できるレイアウトの数に制限はありません。ハードディスクの容量に依存します。
- ・1フレームで作成できる枠の制限は、写真（図）枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠それぞれ10個までです。それ以上はボタン・メニューともに非活性となって作成できません。

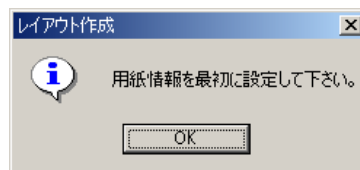
新しくレイアウトを作成する

アルバムのレイアウト作成は、「ファイル」→「新規」→「新規作成」メニュー、または「編集」→「レイアウト挿入」を選択してから行います。

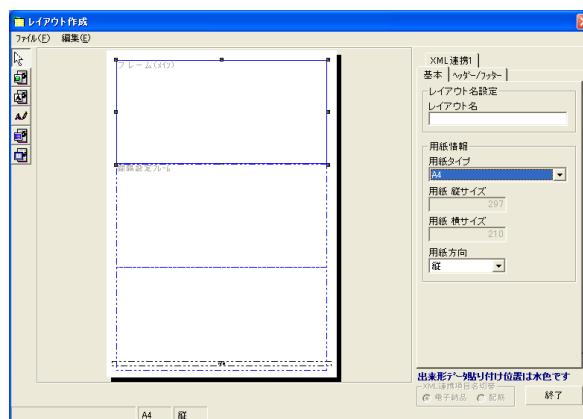
- ① 「レイアウト選択」画面の「レイアウト一覧」から「新規作成」を指定し、「選択」ボタンをクリックします。



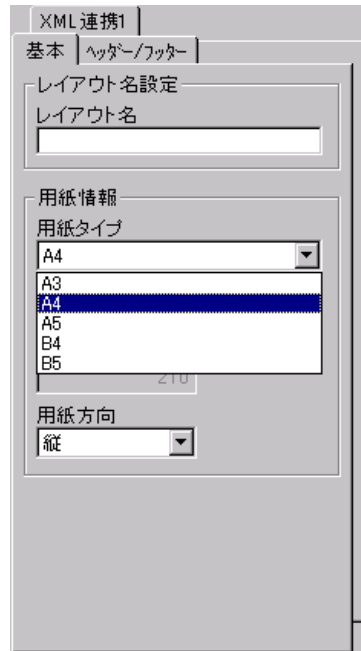
用紙情報の設定を要求するメッセージが表示されます。



- ② [OK] ボタンをクリックします。
「レイアウト作成」画面が表示されます。



③ [基本] タブの、「用紙情報」を設定します。



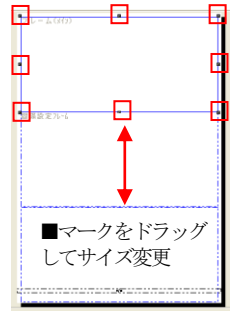
重要 !

1度用紙情報を設定するとその後は変更することができません。注意して設定してください。

④ フレーム（メイン）の大きさ・位置を必要に応じて変更します。

補足 目録

フレーム（メイン）の四隅と上下左右にあるあサイズ変更マーク（■）をドラッグしてサイズ変更します。



フレーム（メイン）
写真枠やテキスト入力枠などを配置します。

間隔フレーム
フレーム（メイン）で設定した内容が間隔フレームにコピーされます。

補足 目録

フレーム（メイン）の大きさや位置によって、1 ページのフレームの数（間隔設定フレームで表示）が自動的に決定されます。



左の設定例ではフレーム（メイン）を含めて4 フレームを設定することができます。



左の設定例ではフレーム（メイン）を含めて2 フレームを設定することができます。

- ⑤ [基本] タブの、「レイアウト名」を入力します。
- ⑥ 写真 (図) 枠、文字入力枠、自由文字枠、表枠、[ヘッダー/フッター] タブ、[XML連携] タブを設定します。

参照

各項目の設定は、「レイアウトの編集をする」(P.9) を参照してください。

- ⑦ 各項目を設定後、[終了] ボタンをクリックします。

レイアウトデータの登録確認メッセージが表示されます。

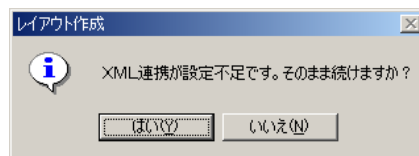


補足

- ・ [いいえ] を選択するとレイアウトデータを保存しないで終了します。
- ・ [キャンセル] を選択すると「レイアウト作成」画面に戻ります。

- ⑧ [はい] ボタンをクリックします。

XML連携の設定を行っていない場合は、次のメッセージが表示されます。



補足

- ・ XML連携が不要の場合には [はい] を選択してください。
- ・ XML連携が必要な場合は [いいえ] を選択し、「レイアウト作成」画面に戻って設定しなおしてください。

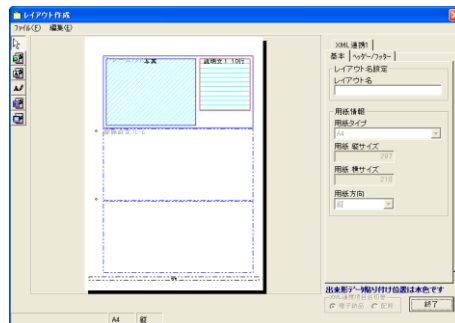
「レイアウト選択」画面に戻ります。

作成済みのレイアウトを使って新たに作成する

- ① 「レイアウト選択」画面から参照作成するレイアウトを指定します。
- ② 「レイアウト選択」画面の [レイアウト編集] メニューから [参照作成] を選択します。



「レイアウト作成」画面が表示されます。



- ③ [基本] タブの、「レイアウト名」を入力します。
- ④ フレーム (メイン) の大きさ・位置を必要に応じて変更します。

参照

・変更方法は、「新しくレイアウトを作成する」(P.2)の「④フレーム (メイン) の大きさ・位置を必要に応じて変更します」の下にある補足説明を参照願います。

- ⑤ 写真 (図) 枠、文字入力枠、自由文字枠、表枠、[ヘッダー/フッター] タブ、[XML連携] タブを設定します。

参照

各項目の設定は、「レイアウトの編集をする」(P.9)を参照してください。

- ⑥ 各項目を設定後、[終了] ボタンをクリックします。

レイアウトデータの登録確認メッセージが表示されます。



補足

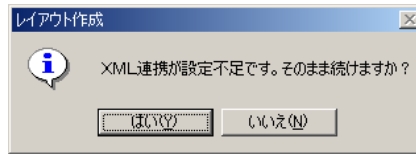
- ・ [いいえ] を選択するとレイアウトデータを保存しないで終了します。
- ・ [キャンセル] を選択すると「レイアウト作成」画面に戻ります。

⑦ [はい] ボタンをクリックします。

「レイアウト選択」画面に戻ります。

補足

XML連携を設定していない場合は、次のメッセージが表示されます。



- XML連携が不要の場合は [はい] を選択してください。
- XML連携が必要な場合は [いいえ] を選択し、「レイアウト作成」画面に戻って設定しなおしてください。

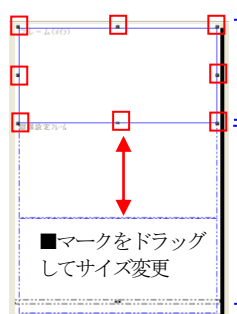
レイアウトを修正する

お客様が作成し、登録したレイアウトを修正できます。工事写真館導入時に、初期登録されているレイアウトに関しては、修正できません。

- ① 「レイアウト選択」画面から修正するレイアウトを選択します。
- ② 「レイアウト選択」画面の [レイアウト編集] メニューから [修正] を選択します。
「レイアウト作成」画面が表示されます。
- ③ フレーム（メイン）の大きさ・位置を必要に応じて変更します。

補足

フレーム（メイン）の四隅と上下左右にあるサイズ変更マーク（■）をドラッグしてサイズ変更します。



フレーム（メイン）
写真枠やテキスト入力枠などを配置します。

間隔フレーム
フレーム（メイン）で設定した内容が間隔フレームにコピーされます。

補足

フレーム（メイン）の大きさや位置によって、1 ページのフレームの数（間隔設定フレームで表示）が自動的に決定されます。



左の設定例ではフレーム（メイン）を含めて4 フレームを設定することができます。



左の設定例ではフレーム（メイン）を含めて2 フレームを設定することができます。

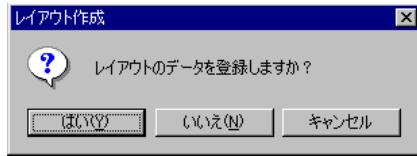
- ④ 写真（図）枠、文字入力枠、自由文字枠、表枠、[ヘッダー/フッター] タブ、[XML連携] タブを必要に応じ修正します。

参照

各項目の設定は、「レイアウトの編集をする」(P.9) を参照してください。

⑤ 各項目を設定後、[終了] ボタンをクリックします。

レイアウトデータの登録確認メッセージが表示されます。



補足

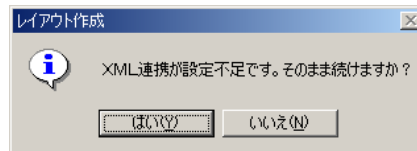
- [いいえ] を選択するとレイアウトデータを保存しないで終了します。
- [キャンセル] を選択すると「レイアウト作成」画面に戻ります。

⑥ [[はい] ボタンをクリックします。

「レイアウト選択」画面に戻ります。

補足

XML連携を設定していない場合は、次のメッセージが表示されます。



- XML連携が不要の場合は [はい] を選択してください。
- XML連携が必要な場合は [いいえ] を選択し、「レイアウト作成」画面に戻って設定しなおしてください。

レイアウトの編集をする

用紙を設定する（レイアウト）

- ① 「レイアウト作成」画面の [基本] タブから「用紙タイプ」と「用紙方向」を選択します。



The screenshot shows a software interface for layout creation. At the top, there are tabs for 'XML連携1', '基本', and 'ヘッダー/フッター'. The '基本' tab is selected. Below the tabs, there is a section for 'レイアウト名設定' with a text input field for 'レイアウト名'. Below that is a section for '用紙情報' containing two dropdown menus: '用紙タイプ' (Paper Type) and '用紙方向' (Paper Orientation). The '用紙タイプ' dropdown is open, showing a list of options: A4, A3, A4, A5, B4, and B5. The '用紙方向' dropdown is set to '縦' (Portrait).

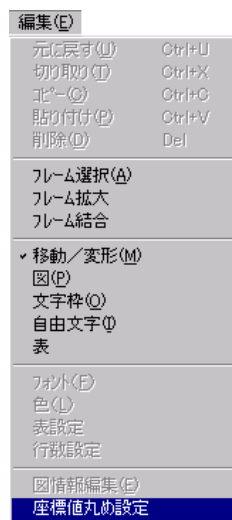
重要!

1度用紙情報を設定するとその後は変更することができません。注意して設定してください。

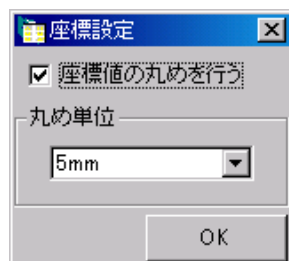
グリッドに合わせて写真（図）枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠のサイズ、位置を固定する

「座標値丸め設定」機能を使うことにより、写真（図）枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠のサイズ、位置を、グリッド単位でそろえることができます。

- ① 「レイアウト作成」画面の [編集] メニューから [座標値丸め設定] を選択します。



- ② 「座標値の丸めを行う」にチェックを入れ、1mm、5mm、または10mmの「丸め単位」を選択します。



初期設定は5mmになっています。

選択した「丸め単位」でグリッドが設定され、各枠の位置や大きさを調整できます。

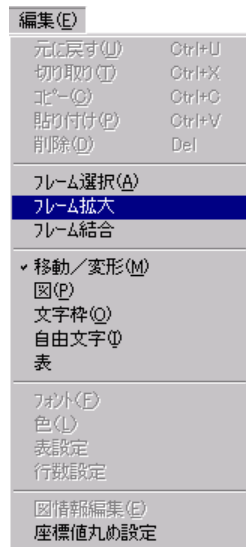
- ③ 写真（図）枠、文字入力枠、自由文字枠、表枠を設定します。

参照

各項目の設定は、「レイアウトの編集をする」(P.9) を参照してください。

「フレーム拡大」画面で編集する（レイアウト）

- ① 「レイアウト作成」画面の [編集] メニューから [フレーム拡大] を選択します。



フレーム（メイン）が拡大された「フレーム拡大」画面が表示されます。



- ② 写真（図）枠、文字入力枠、自由文字枠、表枠を設定します。

参照

各項目の設定は、「レイアウトの編集をする」(P.9) を参照してください。

グリッド表示してレイアウトを編集する

- ① あらかじめ「座標値丸め設定」を行い、「フレーム拡大」画面の「表示」メニューから「グリッド表示を行う」を選択します。

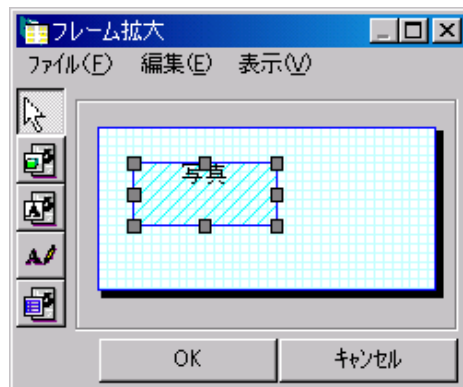


参照

「座標値丸め設定」は、「グリッドに合わせて写真(図)枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠のサイズ、位置を固定する」(P. 10)を参照してください。

- ② 写真(図)枠、文字入力枠、自由文字枠、表枠を設定します。

「座標値丸め設定」で設定した大きさのグリッドに合わせて、レイアウトの編集ができます。

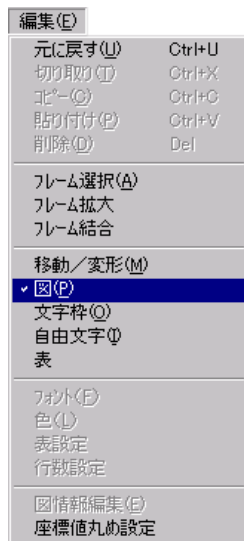


参照

各項目の設定は、「レイアウトの編集をする」(P. 9)を参照してください。

写真（図）枠を作成する

- ① 「レイアウト作成」画面の[編集]メニューから[図]を選択します。

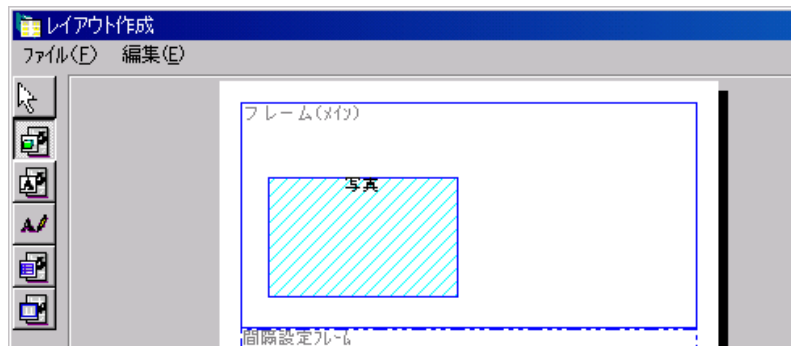


- ② 「フレーム（メイン）」にマウスカーソルを移動します。

十字のカーソルが表示されます。

- ③ 写真（図）枠の始点でマウスをクリックし、そのままドラッグして枠の大きさを設定し、終点で離します。

指定した位置と大きさで写真（図）枠が作成されます。

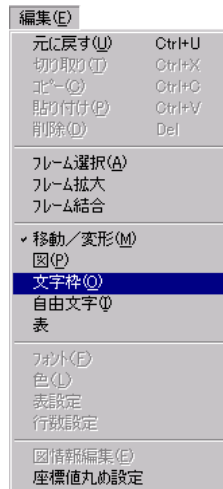


補足 ①

最初に作成された枠が「写真」枠となり 2 番目以降に作成した枠が「参考図」枠となります。

文字入力枠を作成する

- ① 「レイアウト作成」画面の[編集]メニューから[文字枠]を選択します。

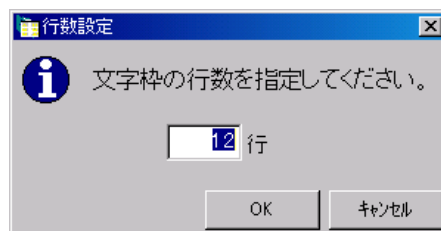


- ② 「フレーム (メイン)」にマウスカーソルを移動します。

十字のカーソルが表示されます。

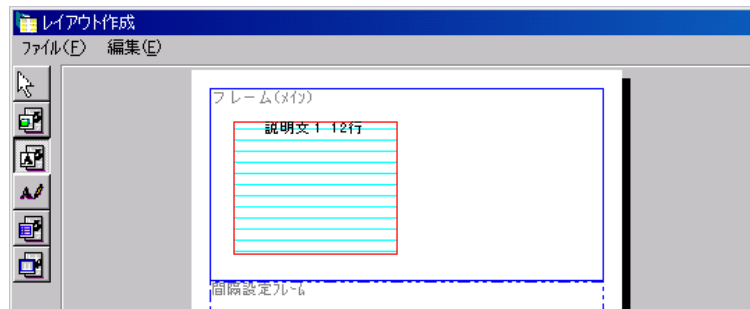
- ③ 文字入力枠の始点でマウスをクリックし、そのままドラッグして枠の大きさを設定し、終点で離します。

「行数設定」画面が表示されます。



- ④ 行数を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

指定した位置・大きさ・行数で文字入力枠が作成されます。

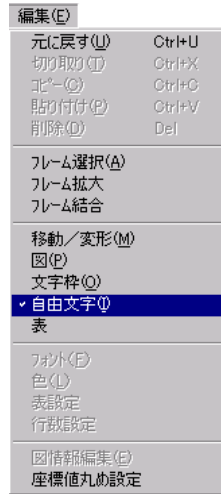


補足

行数の設定は後から変更することもできます。「レイアウト作成」画面の[編集]メニューから「行数設定」画面を選択して設定します。

自由文字枠を作成する（レイアウト）

- ① 「レイアウト作成」画面の[編集]メニューから[自由文字]を選択します。

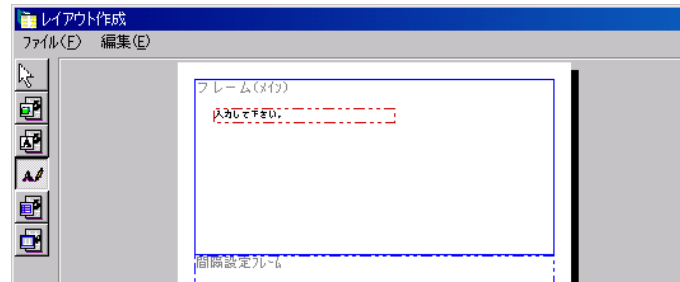


- ② 「フレーム（メイン）」にマウスカーソルを移動します。

十字のカーソルが表示されます。

- ③ 自由文字枠の始点でマウスをクリックし、そのままドラッグして枠の大きさを設定し、終点で離します。

指定した位置と大きさに自由文字枠が作成されます。



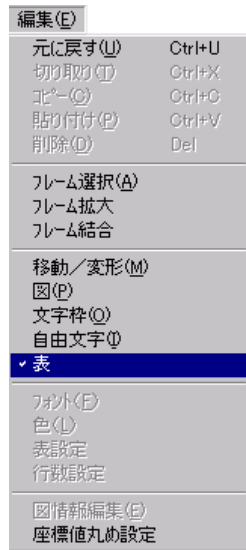
- ④ 作成した枠をクリックして文字を入力します。

補足 ①

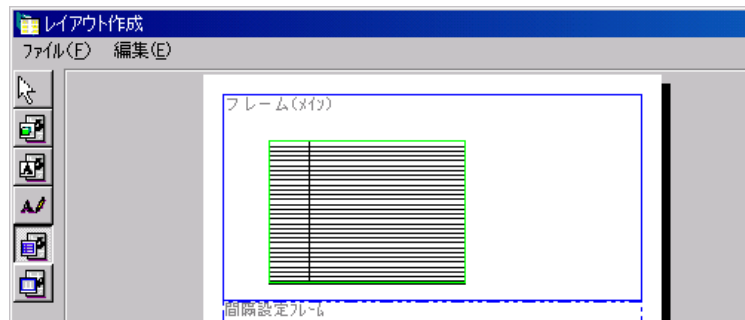
「レイアウト作成」画面の[編集]メニューから[フォント]および[色]を選択すると、文字のフォントおよび色を変更することができます。

表枠を作成する（レイアウト）

- ① 「レイアウト作成」画面の [編集] メニューから [表] を選択します。

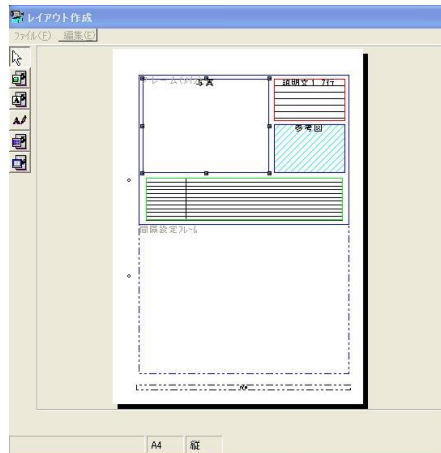


- ② 「フレーム (メイン)」にマウスカーソルを移動します。
十字のカーソルが表示されます。
- ③ 表枠の始点でマウスをクリックし、そのままドラッグして枠の大きさを設定し、終点で離します。
指定した位置と大きさで表枠が作成されます。



写真(図)枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠のサイズ、位置を変更する

- ① 「レイアウト作成」画面の「フレーム(メイン)」から変更したい枠を選択します。



- ② 枠の大きさを変える場合は、枠の四隅と上下左右にあるサイズ変更ハンドル(■マーク)をドラッグします。
- ③ 枠を移動する場合は枠の中にカーソルを置き、ドラッグします。

補足

- ・「レイアウト作成」画面の[編集]メニューから[座標値丸め設定]を選択し、「座標値の丸めを行う」にチェックを入れると、1mm、5mm、または10mmの座標単位で各枠の位置や大きさを調整できます。
初期設定は5mmになっています。
- ・「レイアウト作成」画面の[編集]メニューから[フレーム拡大]を選択すると、フレーム(メイン)が拡大された「フレーム拡大」画面が表示されます。
- ・「フレーム拡大」画面の[表示]メニューから[グリッド表示を行う]を選択すると、フレーム(メイン)に[座標値丸め設定]で設定した単位でのグリッドが表示されます。
ただし、[座標値丸め設定]を設定していない場合には機能しません。
- ・詳しい操作方法は、「グリッドに合わせて写真(図)枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠のサイズ、位置を固定する」(P. 10)を参照してください。

ヘッダー/フッターを設定する

- ① 「レイアウト作成」画面の [ヘッダー/フッター] タブを選択します。



- ② ヘッダー、フッターの「表示位置」、「表示内容」を選択欄より選んで設定します。

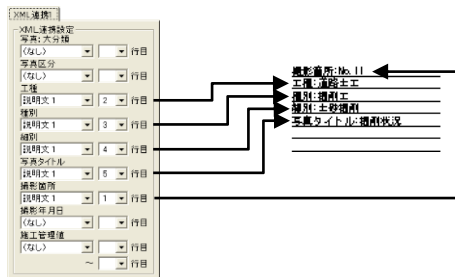
補足

- ・「表示内容」選択欄の「会社名」は、「XML編集」画面の [工事情報] タブの「請負者名」が反映されます。「XML編集」画面から入力してください。
- ・「表示内容」選択欄の「工事名」は、「XML編集」画面の [工事情報] タブの「工事名称」が反映されます。「XML編集」画面から入力してください。
- ・「表示内容」選択欄から「ユーザー設定」を選ぶと任意の文字を入力して、ヘッダーとして表示することができます。
- ・「表示内容」選択欄から「ヘッダー作成」画面で作成したヘッダーレイアウト名を選ぶと、選択したヘッダーレイアウトが表示されます。但し、「レイアウト作成」画面から、選択したヘッダーレイアウトを編集することはできません。

- ③ 必要に応じてフォントの種類、色を設定します。

XML連携を設定する

XML連携とは、XML写真情報をアルバムの文字入力枠のどの行に表示するかを設定する機能です。



建築/配筋用のXML連携を設定したい場合には、「XML連携項目名切替」ラジオボタンにて「建築」にチェックを入れて、建築/配筋用の設定画面に切り替えます。

参照

「文字入力枠を作成する」(P.14)の説明に従い、文字入力枠を作成しておいてください。

補足

- ・「表示内容」選択欄の「会社名」は、「XML編集」画面の[工事情報]タブの「請負者名」が反映されます。
「XML編集」画面から入力してください。
- ・「表示内容」選択欄の「工事名」は、「XML編集」画面の[工事情報]タブの「工事名称」が反映されます。
「XML編集」画面から入力してください。
- ・「表示内容」選択欄から「ユーザー設定」を選ぶと任意の文字を入力して、ヘッダーとして表示することができます。
- ・「表示内容」選択欄から「ヘッダー作成」画面で作成したヘッダーレイアウト名を選ぶと、選択したヘッダーレイアウトが表示されます。
但し、「レイアウト作成」画面から、選択したヘッダーレイアウトを編集することはできません。

① 「レイアウト作成」画面の[XML連携]タブを選択します。

文字入力枠は順次、「説明文1」、「説明文2」・・・と表示されています。

建築/配筋用のXML連携を設定したい場合には、「XML連携項目名切替」ラジオボタンにて「建築」にチェックを入れて、建築/配筋用の設定画面に切り替えます。

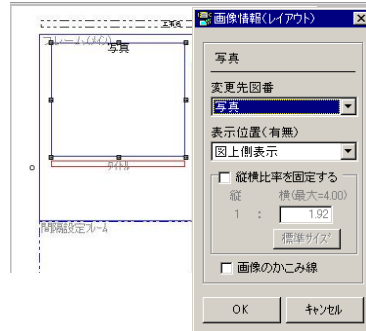


② それぞれのXML写真情報をどの文字入力枠の何行目に表示させるかを選択します。

写真（図）枠を設定する

- ① 「レイアウト作成」画面の「フレーム（メイン）」から、いずれかの写真（図）枠を選択します。
- ② 「レイアウト作成」画面の[編集]メニューから[図情報編集]を選択します。

「画像情報（レイアウト）」画面が表示されます。



- ③ 「変更先図番」の選択欄の中から「写真」か「参考図」を選びます。
- ④ タイトル枠を設定します。

「表示位置（有無）」の選択欄の中から「図上側表示」または「図下側表示」を選択することにより、写真（図）枠の上部または下部にタイトル枠が設定されます。

参照

タイトル枠の設定は、「写真（図）枠にタイトル枠を設定する」（P. 21）を参照してください。

- ⑤ 縦横比率の固定の有無を設定します。

「縦横比率を固定する」にチェックを入れることにより、枠の縦横比率を固定することができます。

参照

詳しい操作方法は、「写真の縦横比に合わせた写真（図）枠を設定する」（P. 22）を参照してください。

- ⑥ 画像のかこみ線の有無を設定します。

「画像のかこみ線」にチェックを入れることにより、写真（図）枠の周りに枠線を表示することができます。

- ⑦ [OK] ボタンをクリックします。

選択した条件で写真（図）枠が設定されます。

写真（図）枠にタイトル枠を設定する

写真や参考図の上側/下側にタイトル枠を設定します。

- ① 「レイアウト作成」画面の[フレーム(メイン)]から、任意の写真（図）枠を選択します。
- ② 「レイアウト作成」画面の[編集]メニューから[図情報編集]を選択します。

「画像情報（レイアウト）」画面が表示されます。



- ③ [表示位置(有無)]の選択欄の中から[図上側表示]または[図下側表示]を選択します。

選択した写真（図）枠の上部または下部にタイトル枠が設定されます。

補足

[表示位置(有無)]の選択欄の中から[表示なし]を選択すると、タイトル枠は作成されません。

- ④ [OK] ボタンをクリックします。

選択した位置にタイトル枠が設定されます。

参照

タイトルの入力は、「基本操作編」の「写真（図）枠のタイトルにテキストを入力する」を参照してください。

写真の縦横比に合わせた写真（図）枠を設定する

- ① 「レイアウト作成」画面の [フレーム(メイン)] から、任意の写真（図）枠を選択します。
- ② 「レイアウト作成」画面の [編集] メニューから [図情報編集] を選択します。

「画像情報（レイアウト）」画面が表示されます。



- ③ [縦横比率を固定する] にチェックを入れ、横の比率を入力します。

補足

- ・ エクスプローラ上で、アルバムに貼り付けたい写真ファイルのプロパティより写真の縦横サイズを確認して、あらかじめ縦を「1」とした横の比率を小数点以下2桁以内で計算しておいてください。
- ・ [標準サイズ] ボタンをクリックすると、縦横比率を1 : 1.33 で固定します。

- ④ [OK] ボタンをクリックします。

入力した縦横比で、写真（図）枠の縦横比率を固定されます。

表枠を設定する（レイアウト）

- ① 「レイアウト作成」画面の「フレーム（メイン）」から、編集する表枠を選択します。
- ② 「レイアウト作成」画面の [編集] メニューから [表設定] を選択します。

「表設定」画面が表示され、表枠の編集が行えます。



- ③ 表枠の「表幅」、「行数」、「タイトル幅」、「ワク線」の情報を設定します。

補足

「表幅」、「タイトル幅」は、シート上でマウスを使ってドラッグすることでも変更することができます。

- ④ 「行の高さ」を設定します。

補足

- ・行選択後、「均等」・「1行分」～「3行分」・「ユーザー設定」ボタンで高さを指定できます。
- ・「行の高さ」は、シート上でマウスを使ってドラッグすることでも変更することができます。

- ⑤ 「タイトル」、「表示タイトル」を入力し、[フォント設定] ボタンによりフォントを設定します。

補足

- ・「タイトル」は必須入力項目です。
- ・「表示タイトル」には、アルバムで実際に表示したい内容を入力します。この項目を空にすると、その行全てを本文領域とみなし、「タイトル」、「本文領域」間の区切り線を省略します。
- ・アルバム画面ではフォントの変更はできません。レイアウト作成画面段階であらかじめ設定しておいてください。

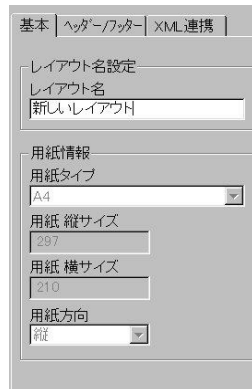
- ⑥ [OK] ボタンをクリックします。

選択した条件で表枠が設定されます。

レイアウト名を入力する

レイアウトの作成においてレイアウト名が入力できます。ここで入力されたレイアウト名は「レイアウト選択」画面の「レイアウト一覧」で表示されます。

- ① 「レイアウト作成」画面の [基本] タブを選択します。



The screenshot shows a dialog box titled 'レイアウト作成' (Layout Creation) with three tabs: '基本' (Basic), 'ヘッダー/フッター' (Header/Footer), and 'XML連携' (XML Linkage). The '基本' tab is selected. Under the heading 'レイアウト名設定' (Layout Name Setting), there is a text input field for 'レイアウト名' (Layout Name) containing the text '新しいレイアウト' (New Layout). Below this, under the heading '用紙情報' (Paper Information), there are several fields: '用紙タイプ' (Paper Type) is a dropdown menu set to 'A4'; '用紙縦サイズ' (Paper Vertical Size) is a text input field containing '297'; '用紙横サイズ' (Paper Horizontal Size) is a text input field containing '210'; and '用紙方向' (Paper Orientation) is a dropdown menu set to '縦' (Portrait).

- ② 「レイアウト名」入力欄にレイアウト名を入力します。

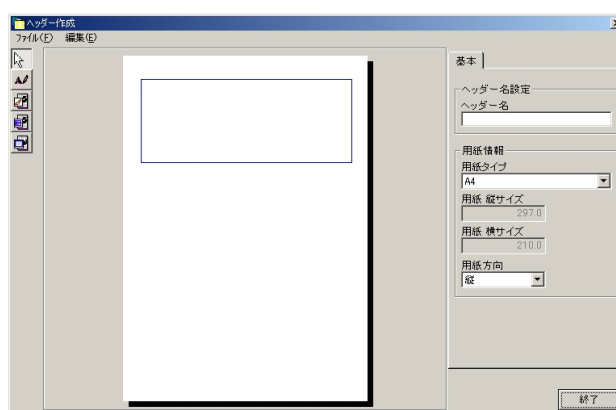
ヘッダーのレイアウトを作成する

新しくヘッダーのレイアウトを作成する

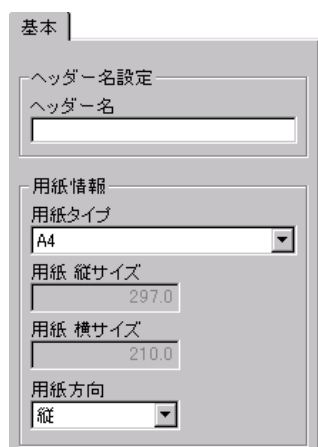
ヘッダーのレイアウト作成は、「レイアウト作成」画面の [ファイル] メニューから [ヘッダー編集] を選択して行います。

- ① 「ヘッダー選択」画面の「ヘッダー一覧」から [新規作成] を指定し、[選択] ボタンをクリックします。

「ヘッダー作成」画面が表示されます。



- ② [基本] タブの、「ヘッダー名」、「用紙情報」を設定します。



- ③ ヘッダー作成領域の大きさを必要に応じて変更します。

補足

- ・ヘッダー作成領域の四隅と上下左右にあるサイズ変更ハンドル (■マーク) をドラッグしてサイズ変更します。
- ・ヘッダー作成領域の位置は変更できません。

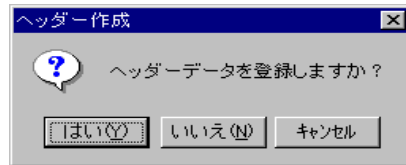
- ④ 固定画像、表枠、文字入力枠を設定します。

参照

各項目の設定は、「ヘッダーのレイアウトを編集する」(P.29)を参照してください。

- ⑤ 各項目を設定後、[終了] ボタンをクリックします。

ヘッダーデータの登録確認メッセージが表示されます。



- ⑥ [はい] ボタンをクリックします。

ヘッダーデータを登録し、「ヘッダー選択」画面に戻ります。

補足

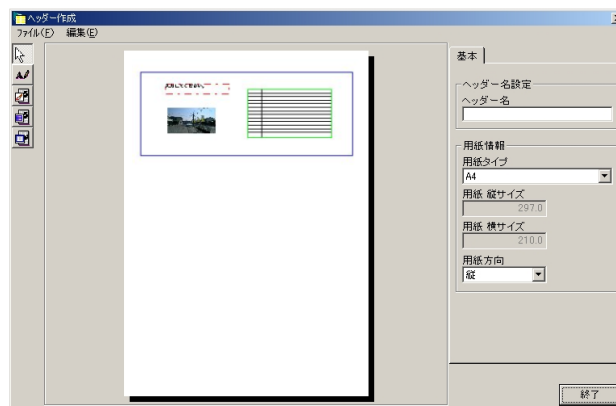
- ・ [いいえ] を選択するとヘッダーデータを保存しないで終了します。
- ・ [キャンセル] を選択すると「ヘッダー作成」画面に戻ります。

作成済みのヘッダーレイアウトを使って新たに作成する

- ① 「ヘッダー選択」画面参照作成するヘッダーレイアウトを指定します。
② 「ヘッダー選択」画面の [レイアウト編集] メニューから [参照作成] を選択します。



「ヘッダー作成」画面が表示されます。



- ③ [基本] タブの、「ヘッダー名」、「用紙情報」を設定します。

④ ヘッダー作成領域の大きさを必要に応じて変更します。

補足

- ・ヘッダー作成領域の四隅と上下左右にあるサイズ変更ハンドル (■マーク) をドラッグしてサイズ変更します。
- ・ヘッダー作成領域の位置は変更できません。

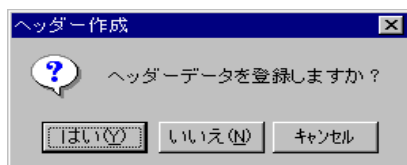
⑤ 固定画像、表枠、文字入力枠を設定します。

参照

各項目の設定は、「ヘッダーのレイアウトを編集する」(P.29) を参照してください。

⑥ 各項目を設定後、[終了] ボタンをクリックします。

ヘッダーデータの登録確認メッセージが表示されます。



補足

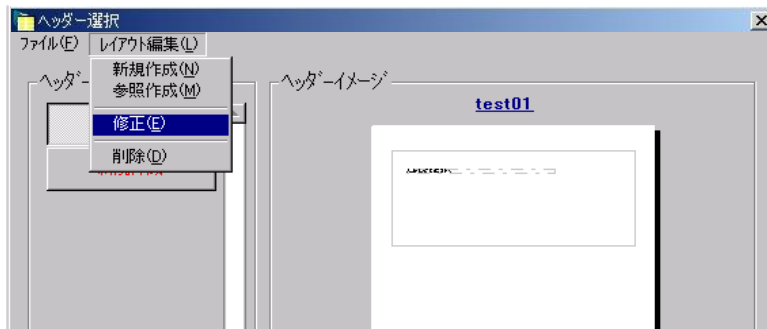
- ・[いいえ] を選択するとヘッダーデータを保存しないで終了します。
- ・[キャンセル] を選択すると「ヘッダー作成」画面に戻ります。

⑦ [はい] ボタンをクリックします。

「ヘッダー選択」画面に戻ります。

ヘッダーのレイアウトを修正する

- ① 「ヘッダー選択」画面から修正するレイアウトを選択します。
- ② 「ヘッダー選択」画面の「レイアウト編集」メニューから「修正」を選択します。



「ヘッダー作成」画面が表示されます。

- ③ 「基本」タブの、「ヘッダー名」、「用紙情報」を設定します。
- ④ ヘッダー作成領域の大きさを必要に応じて変更します。

補足

- ・ヘッダー作成領域の四隅と上下左右にあるサイズ変更ハンドル（■マーク）をドラッグしてサイズ変更します。
- ・ヘッダー作成領域の位置は変更できません。

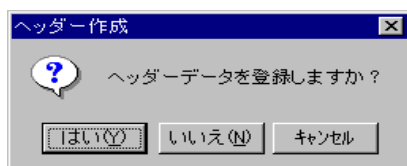
- ⑤ 固定画像、表枠、文字入力枠を必要に応じて修正します。

参照

各項目の設定は、「ヘッダーのレイアウトを編集する」(P.29)を参照してください。

- ⑥ 各項目を設定後、「終了」ボタンをクリックします。

ヘッダーデータの登録メッセージが表示されます。



補足

- ・「いいえ」を選択するとヘッダーデータを保存しないで終了します。
- ・「キャンセル」を選択すると「ヘッダー作成」画面に戻ります。

- ⑦ 「はい」ボタンをクリックします。

「ヘッダー選択」画面に戻ります。

ヘッダーのレイアウトを編集する

用紙を設定する（ヘッダー）

- ① 「ヘッダー作成」画面の [基本] タブから「用紙情報」を設定します。

グリッドに合わせて固定画像・表枠・自由文字枠のサイズ、位置を固定する

「座標値丸め設定」機能を使うことにより、固定画像・表枠・自由文字枠のサイズ、位置を、グリッド単位でそろえることができます。

- ① 「ヘッダーレイアウト作成」画面の [編集] メニューから [座標値丸め設定] を選択します。
- ② 「座標値の丸めを行う」にチェックを入れ、1mm、5mm、または10mmの「丸め単位」を選択します。

初期設定は5mmになっています。

選択した「丸め単位」でグリッドが設定され、各枠の位置や大きさを調整できます。

- ③ 固定画像、表枠、自由文字枠を設定します。

「フレーム拡大」画面で編集する（ヘッダー）

- ① 「ヘッダーレイアウト作成」画面の [編集] メニューから [フレーム拡大] を選択します。
ヘッダー作成領域が拡大された「フレーム拡大」画面が表示されます。
- ② 固定画像、表枠、自由文字枠を設定します。

グリッド表示してヘッダーレイアウトを編集する

- ① あらかじめ「座標値丸め設定」を行い、「フレーム拡大」画面の「表示」メニューから「グリッド表示を行う」を選択します。

参照

「座標値丸め設定」は、「グリッドに合わせて固定画像・表枠・自由文字枠のサイズ、位置を固定する」(P.10)を参照してください。

- ② 固定画像、表枠、自由文字枠を設定します。

設定した大きさのグリッドに合わせて、ヘッダーレイアウトの編集ができます。

参照

各項目の設定は、「ヘッダーのレイアウトを編集する」(P.29)を参照してください。

固定画像を貼り付ける

- ① 「ヘッダー作成」画面の「編集」メニューから「固定画像」を選択します。
- ② ヘッダー作成領域にマウスカーソルを移動します。
十字のカーソルが表示されます。
- ③ 固定画像を貼り付けたい位置からドラッグ&ドロップで範囲指定します。
ダイアログボックスが表示されます。
- ④ 写真を選択し、「開く」をクリックします。
指定した位置に固定画像として貼り付けられます。

表枠を作成する（ヘッダー）

- ① 「ヘッダー作成」画面の「編集」メニューから「表」を選択します。
- ② ヘッダー作成領域にマウスカーソルを移動します。
十字のカーソルが表示されます。
- ③ 表枠の始点でマウスをクリックし、そのままドラッグして枠の大きさを設定し、終点で離します。
指定した位置と大きさとで表枠が作成されます。

自由文字枠を作成する（ヘッダー）

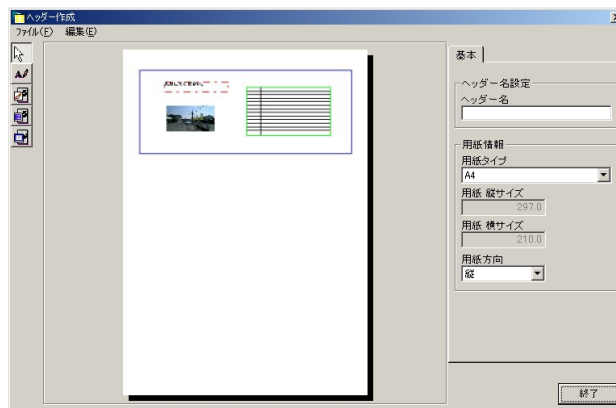
- ① 「ヘッダー作成」画面の[編集]メニューから[自由文字]を選択します。
- ② ヘッダー作成領域にマウスカーソルを移動します。
十字のカーソルが表示されます。
- ③ 自由文字枠の始点でマウスをクリックし、そのままドラッグして枠の大きさを設定し、終点で離します。
指定した位置と大きさで自由文字枠が作成されます。
- ④ 作成した枠をクリックして文字を入力します。

補足

「レイアウト作成」画面の[編集]メニューから[フォント]および[色]を選択すると、文字のフォントおよび色を変更することができます。

固定画像・表枠・自由文字枠のサイズ、位置を変更する

- ① 「ヘッダー作成」画面のヘッダー作成領域において変更したい枠を選択します。



- ② 枠の大きさを変える場合は、枠の四隅と上下左右にあるサイズ変更ハンドル（■マーク）をドラッグします。
- ③ 枠を移動する場合は枠の中にカーソルを置き、ドラッグします。

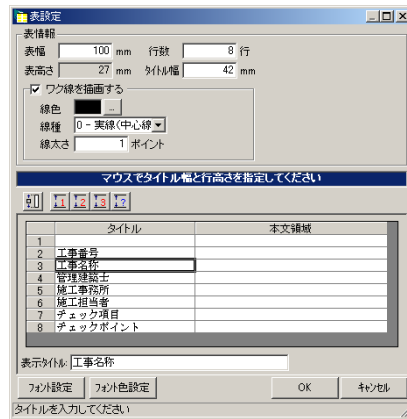
補足

- ・「ヘッダー作成」画面の[編集]メニューから[座標値丸め設定]を選択して「座標値の丸めを行う」にチェックを入れると、1mm、5mm、または10mmの座標単位で各枠の位置や大きさを調整できます。
初期設定は5mmになっています。
- ・「ヘッダー作成」画面の[編集]メニューから[フレーム拡大]を選択すると、ヘッダー作成領域が拡大された「フレーム拡大」画面が表示されます。
- ・「フレーム拡大」画面の[表示]メニューから[グリッド表示を行う]を選択すると、フレーム（メイン）に[座標値丸め設定]で設定した単位でのグリッドが表示されます。
ただし、[座標値丸め設定]を設定していない場合には機能しません。
- ・詳しい操作方法は、「グリッドに合わせて固定画像・表枠・自由文字枠のサイズ、位置を固定する」(P.10)を参照してください。

表枠を設定する（ヘッダー）

- ① 「ヘッダー作成」画面で編集する表枠を選択します。
- ② 「ヘッダー作成」画面の「編集」メニューから「表設定」を選択します。

「表設定」画面が表示され、表枠の編集ができます。



- ③ 表枠の「行数」、「表幅」、「タイトル幅」、「ワク線の情報」を設定します。

補足

「表幅」「タイトル幅」は、シート上でマウスを使ってドラッグすることによっても変更することができます。

- ④ 「行の高さ」を設定します。

補足

- ・行選択後、「均等」・「1行分」～「3行分」・「ユーザー設定」ボタンで高さを指定できます。
- ・「行の高さ」は、シート上でマウスを使ってドラッグすることによっても変更することができます。

- ⑤ 「タイトル」、「表示タイトル」を入力し、「フォント設定」「フォント色設定」ボタンでフォントを設定します。

補足

- ・「タイトル」は必須入力項目です。
- ・「表示タイトル」には、アルバムで実際に表示したい内容を入力します。この項目を空にすると、その行全てを本文領域とみなし、「タイトル」、「本文領域」間の区切り線を省略します。
- ・アルバム画面ではフォントの変更はできません。レイアウト作成画面段階であらかじめ設定しておいてください。

⑥ 「共有」設定をします。

「共有」設定により、アルバム作成段階において、同一レイアウト内の同一タイトルを持つ本文領域への入力が一度ですみます。

補足

- ・「共有なし」を選択すると、アルバム作成段階における本文領域への入力を個別に行えます。
- ・「ページ共有」を選択すると、アルバム作成段階において、同一ページ中で同一タイトルを持つ本文領域への入力が一度ですみます。
- ・「アルバム共有」を選択すると、アルバム作成段階において、同一アルバム中で同一タイトルを持つ本文領域への入力が一度ですみます。

⑦ [OK] ボタンをクリックします。

選択した条件で表枠が設定されます。

ヘッダー名を入力する

ヘッダーのレイアウト作成において、ヘッダー名が入力できます。
ここで入力されたヘッダー名は「ヘッダー選択」画面の「ヘッダー一覧」で表示されます。

① 「ヘッダー名」入力欄にヘッダー名を入力します。

The screenshot shows a software interface with a '基本' (Basic) tab selected. Under the 'ヘッダー名設定' (Header Name Setting) section, there is a text input field for 'ヘッダー名' (Header Name) containing the text 'レイアウト1'. Below this, the '用紙情報' (Paper Information) section contains several settings: '用紙タイプ' (Paper Type) is set to 'A4', '用紙 縦サイズ' (Paper Vertical Size) is '210', '用紙 横サイズ' (Paper Horizontal Size) is '298', and '用紙方向' (Paper Orientation) is set to '横' (Horizontal).

レイアウトデータをコピーする

「アルバムのレイアウトを作成する」(P. 1)、および、「ヘッダーのレイアウトを作成する」(P. 25)で作成した各レイアウトデータは、外部記憶媒体に保存後、別のコンピュータの工事写真館から読み込んで使用することができます。

以下、レイアウトデータの保存方法、および、読み込み方法を説明します。

レイアウトデータを保存する

- ① アルバム画面の [レイアウトツール] メニューから [レイアウト保存] を選択します。

「レイアウト保存」画面が表示されます。



- ② レイアウトデータの保存先を指定し、[保存] ボタンをクリックします。

重要 !

保存先には以下のデータフォルダ以外を指定してください。

- セットアップデータの保存されている「PHOTLT」フォルダ
- XMLファイルの保存されている「PHOTO」フォルダ
- アルバムのファイル（拡張子が.pam）とフォルダ
- 工事写真館 Ver. 4. 3. x よりバージョンアップした場合には、Ver. 4. 3. x までのバージョンで作成したアルバムの保存されている「FWPHOT」フォルダとビューアデータの保存されている「FWAlbum」フォルダ

補足

[キャンセル] ボタンをクリックするとアルバム画面に戻ります。

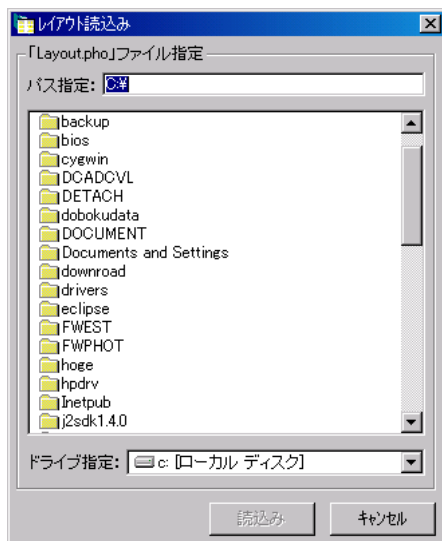
- ③ 「レイアウト保存は完了しました。」のメッセージを確認後、[OK] ボタンをクリックします。

アルバム画面に戻ります。

レイアウトデータを読み込む

- ① アルバム画面の [レイアウトツール] メニューから [レイアウト読み込み] を選択します。

「レイアウト読み込み」画面が表示されます。



- ② 「レイアウトデータを保存する」の操作で作成したレイアウトデータの保存先を指定し、[読み込み] ボタンをクリックします。

補足

[キャンセル] ボタンをクリックするとアルバム画面に戻ります。

- ③ 「レイアウト読み込みは完了しました。」のメッセージを確認後、[OK] ボタンをクリックします。

アルバム画面に戻ります。

補足

読み込んだレイアウトデータは、次回新規アルバム作成時より、「レイアウト一覧」に表示されます。

レイアウトを変更して別アルバムとして保存する

既に作成したアルバム内の全てのページを特定のレイアウトに変えて別のアルバムとして保存したい場合、以下の操作に従い変更してください。

重要 !

変更前と変更後のレイアウトにおいて、以下の各枠の数が変更後の方が少ない場合、足りない枠に対して行った編集が変更後のアルバムには反映されません。

- ・メインフレームの参考図枠、文字入力枠、自由文字枠、表枠
- ・ヘッダーフレームの自由文字枠、固定画像枠、表枠

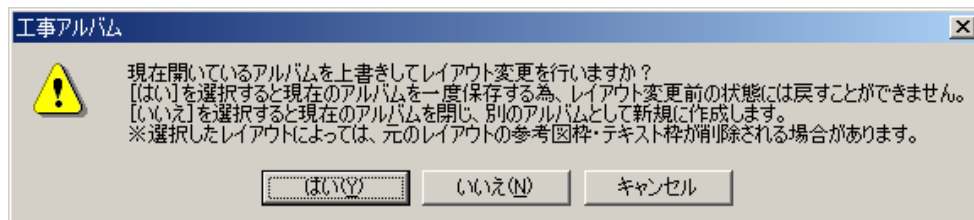
「アルバムのレイアウトを作成する」(P.1)、および、「ヘッダーのレイアウトを作成する」(P.25)を参照し、あらかじめ必要な枠を持ったレイアウトを作成しておいてください。

- ① アルバム画面の [レイアウトツール] メニューから [レイアウト変更] を選択します。

「レイアウト選択」画面が表示されます。

- ② 変更したいレイアウトを指定し、[選択] ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されます。

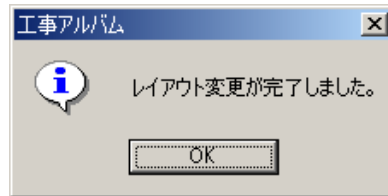


- ③ [いいえ] ボタンをクリックします。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

- ④ 「保存する場所」欄と「ファイル名」欄を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されます。



- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。

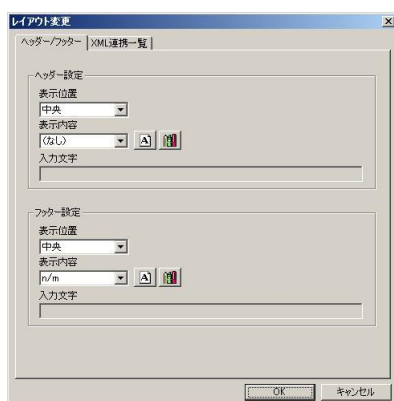
レイアウトが変更され、アルバム画面に戻ります。

ヘッダー/フッターのみを変更する

既に作成したアルバムのヘッダー/フッターのみを変更したい場合、以下の操作に従い変更してください。

- ① アルバム画面の [レイアウトツール] メニューから [ヘッダー/フッター・XML連携設定変更] を選択します。

「レイアウト変更」画面が表示されます。



- ② 「ヘッダー/フッターを設定する」(P. 18) の説明に従い、変更したいヘッダー/フッターを指定します。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。

レイアウトデータの登録確認メッセージが表示されます。



補足

- ・ [いいえ] を選択するとヘッダーデータを保存しないで終了します。
- ・ [キャンセル] を選択すると「ヘッダー作成」画面に戻ります。

- ④ [[はい] ボタンをクリックします。

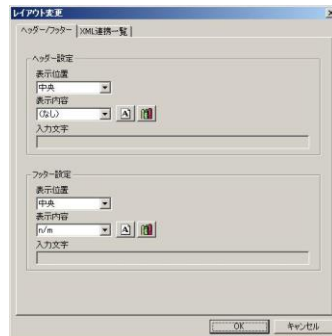
レイアウトが変更され、アルバム画面に戻ります。

XML連携設定のみを変更する

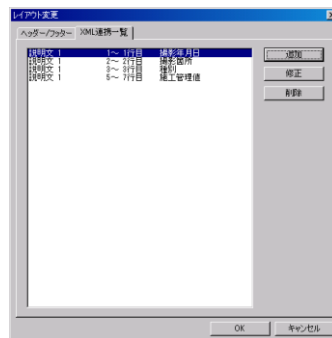
既に作成したアルバムのXML連携設定のみを変更したい場合、以下の操作に従い変更してください。

- ① アルバム画面の [レイアウトツール] メニューから [ヘッダー/フッター・XML連携設定変更] を選択します。

「レイアウト変更」画面が表示されます。



- ② 「XML 連携一覧」 タブに切り替えます。



- ③ 「XML連携を設定する」 (P. 19)の説明に従い、変更したいXML項目を指定します。
- ④ [OK] ボタンをクリックします。

レイアウトデータの登録確認メッセージが表示されます。



補足

- [いいえ] を選択するとヘッダーデータを保存しないで終了します。
- [キャンセル] を選択すると「ヘッダー作成」画面に戻ります。

- ⑤ [はい] ボタンをクリックします。

レイアウトが変更され、アルバム画面に戻ります。

工事写真館の画面について

「レイアウト作成」画面

登録されているレイアウトの他に新たにアルバムレイアウトを作成する場合、この画面で作成します。

「レイアウト選択」画面の [レイアウト編集] メニューから [新規作成] - [参照作成]、または [修正] を選択すると「レイアウト作成」画面が表示されます。

メニューバー
メニューを表示します。

「ヘッダー/フッター」タブ
ヘッダー/フッターを設定します。

「基本」タブ
「レイアウト名」、「用紙情報」等を設定します。

「XML連携」タブ
XML連携を設定します。

ツールバー
ツールボタンを表示します。
プルダウンメニューの中から、使用頻度の高いコマンドをアイコン表示しています。メニューからコマンドを選択する手間が省けます。

基本 | ヘッダー/フッター | XML連携

XML連携1 | XML連携2

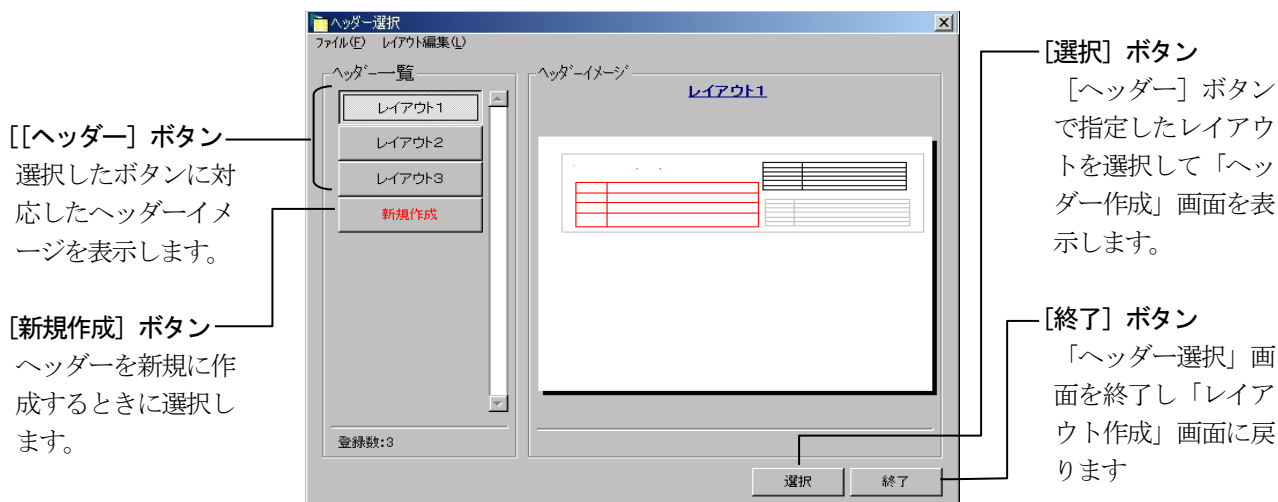
基本 | ヘッダー/フッター

XML連携設定

工種	<なし>	行目
種別		
説明文 1	3	行目
細別	<なし>	行目
写真タイトル	<なし>	行目
撮影箇所		
説明文 1	2	行目
撮影年月日		
説明文 1	1	行目
施工管理値		
説明文 1	5	行目
	~	7

「ヘッダー選択」画面

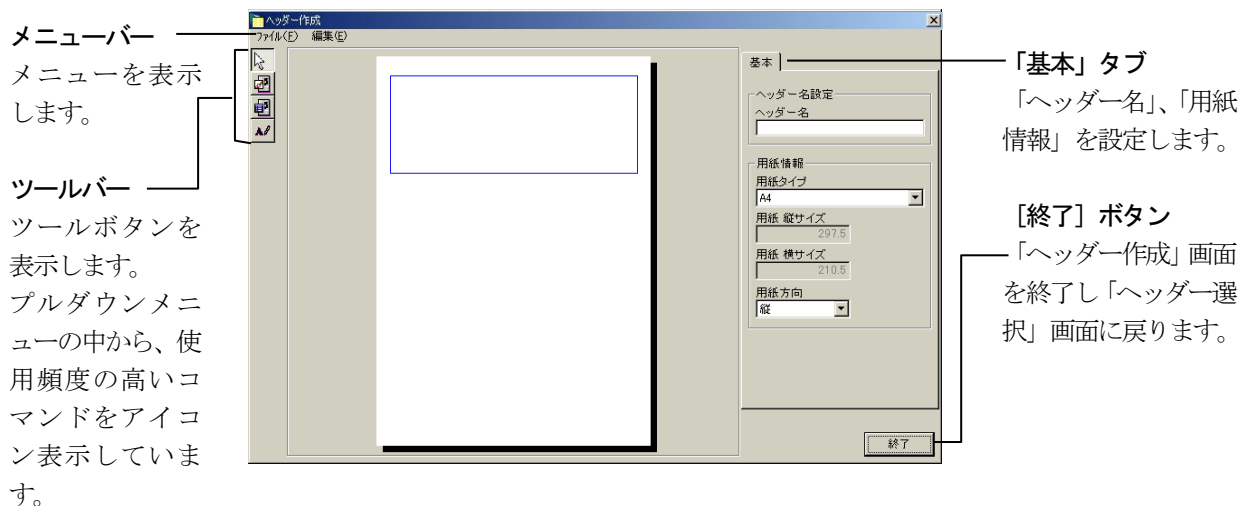
「レイアウト作成」画面の [ファイル] メニューから [ヘッダー編集] を選択すると「ヘッダー選択」画面が表示されます。



「ヘッダー作成」画面

登録されているヘッダーの他に新たにヘッダーのレイアウトを新規作成する場合、この画面で作成します。

「ヘッダー選択」画面の [レイアウト編集] メニューから [新規作成] - [参照作成]、または [修正] を選択すると「ヘッダー作成」画面が表示されます。



メニューについて

「レイアウト作成」画面のメニュー

ファイル

ファイル(F)
レイアウト参照(F)
ヘッダー編集(H)
終了(X)

レイアウト参照

作成済みのレイアウトを呼び出し、レイアウトを編集します。

ヘッダー編集

「ヘッダー選択」画面を呼び出し、ヘッダーのレイアウトを編集します。

終了

「レイアウト作成」画面を終了します。

編集

編集(E)
元に戻す(U) Ctrl+U
切り取り(T) Ctrl+X
コピー(C) Ctrl+C
貼り付け(P) Ctrl+V
削除(D) Del
フレーム選択(A)
フレーム拡大
フレーム結合
✓移動/変形(M)
図(P)
文字枠(O)
自由文字(Q)
表
フォント(F)
色(L)
表設定
行数設定
図情報編集(E)
座標値丸め設定

元に戻す

レイアウト編集での編集内容を1つ前の操作に戻します。

切り取り

レイアウト編集で選択した内容を切り取ります。

コピー

レイアウト編集で選択した内容をコピーします。

貼り付け

レイアウト編集で切り取りした内容か、コピーした内容を貼り付けます。

削除

選択している枠を削除します。

フレーム選択

フレーム（メイン）を選択します。

フレーム拡大

「レイアウト作成」画面のフレーム（メイン）部分を拡大表示します。

フレーム結合

フレームを結合します。

移動/変形

レイアウト編集で選択した内容を、カーソルを使って移動/変形します。

図

レイアウトの中に写真（図）枠を作成します。

最初に作成された枠が「写真」枠となり2番目以降に作成した枠が「参考図」枠となります。

文字枠

レイアウトの中に文字枠を作成します。

自由文字

レイアウトの中に自由文字枠を作成します。

表

レイアウトの中に表枠を作成します。

フォント

文字枠のフォントを指定します。

色

文字枠の文字色を指定します。

表設定

「表設定」画面を呼び出し、表枠を編集します。

行数設定

「行数設定」画面を呼び出し、テキスト枠の行数を指定します。

図情報編集

「図情報編集」画面を呼び出し、写真（図）枠のタイトル枠設定等を行います。

座標値丸め設定

各枠の位置や大きさを、座標単位で調整します。

「フレーム拡大」画面(レイアウト)のメニュー

ファイル

ファイル(E)

終了(X)

終了

「フレーム拡大」画面を終了します。

編集

編集(E)

元に戻す(U) Ctrl+U

コピー(C) Ctrl+C

貼り付け(P) Ctrl+V

削除(D) Del

移動/変形(M)

図(P)

文字枠(Q)

自由文字(O)

表

フォント(F)

色(L)

表設定(S)

行数設定

図情報編集(E)

座標値丸め設定

元に戻す

レイアウト編集での編集内容を1つ前の操作に戻します。

コピー

レイアウト編集で選択した内容をコピーします。

貼り付け

レイアウト編集で切り取りした内容か、コピーした内容を貼り付けます。

削除

選択している枠を削除します。

移動/変形

レイアウト編集で選択した内容を、カーソルを使って移動/変形します。

図

レイアウトの中に写真(図)枠を作成します。

最初に作成された枠が「写真」枠となり2番目以降に作成した枠が「参考図」枠となります。

文字枠

レイアウトの中に文字枠を作成します。

自由文字

レイアウトの中に自由文字枠を作成します。

表

レイアウトの中に表枠を作成します。

フォント

文字枠のフォントを指定します。

色

文字枠の文字色を指定します。

表設定

「表設定」画面を呼び出し、表枠を編集します。

行数設定

「行数設定」画面を呼び出し、テキスト枠の行数を指定します。

図情報編集

「図情報編集」画面を呼び出し、写真(図)枠のタイトル枠設定等を行います。

座標値丸め設定

各枠の位置や大きさを、座標単位で調整します。

表示

表示(V)

グリッドの表示を行う(Q)

グリッドの表示を行う

座標値丸め設定を設定している場合にのみ、フレーム（メイン）をグリッド表示します。

「ヘッダー選択」画面のメニュー

ファイル

ファイル(F)

選択(A)

終了(O)

選択

ヘッダーのレイアウトを選択します。

終了

「ヘッダー選択」画面を終了します。

レイアウト編集

レイアウト編集(L)

新規作成(N)

参照作成(M)

修正(E)

削除(D)

新規作成

ヘッダーのレイアウトを新規作成します。

参照作成

作成済みのヘッダーのレイアウトを選択して、ヘッダーレイアウトを新規に作成します。

修正

ヘッダーのレイアウトを修正します。

削除

ヘッダーのレイアウトを削除します。

「ヘッダー作成」画面のメニュー

ファイル

ファイル(E)

終了(X)

終了

「ヘッダー作成」画面を終了します。

編集

編集(E)

元に戻す(U)

Ctrl+U

削除(D)

Del

移動/変形(M)

自由文字(F)

固定画像(P)

表(Q)

フォント(F)

色(C)

表設定(S)

フレーム拡大

座標値丸め設定

元に戻す

レイアウトの編集内容を1つ前の操作に戻します。

削除

ヘッダーのレイアウトを削除します。

移動/変形

レイアウトの編集で選択した内容を、カーソルを使って移動/変形します。

自由文字

レイアウトの中に自由文字枠を作成します。

固定画像

レイアウトの中に画像を入れます。

表

レイアウトの中に表枠を作成します。

フォント

自由文字のフォントを設定します。

色

自由文字の色を設定します。

表設定

「表設定」画面を呼び出し、表枠を編集します。

フレーム拡大

「ヘッダー作成」画面のフレーム部分を拡大表示します。

座標値丸め設定

各枠の位置や大きさを、座標単位で調整します。

「フレーム拡大」画面（ヘッダー）のメニュー

ファイル

ファイル(E)

終了(X)

終了

「フレーム拡大」画面を終了します。

編集

編集(E)

元に戻す(U)	Ctrl+U
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
削除(D)	Del

移動/変形(M)

自由文字(F)
固定画像
表

フォント(F)
色(L)

表設定(S)

座標値丸め設定

元に戻す

レイアウトの編集内容を1つ前の操作に戻します。

コピー

レイアウト編集で選択した内容をコピーします。

貼り付け

レイアウト編集で切り取りした内容か、コピーした内容を貼り付けます。

削除

ヘッダーのレイアウトを削除します。

移動/変形

レイアウトの編集で選択した内容を、カーソルを使って移動/変形します。

自由文字

レイアウトの中に自由文字枠を作成します。

固定画像

レイアウトの中に画像を入れます。

表

レイアウトの編集で選択した内容に表枠を作成します。

フォント

自由文字のフォントを設定します。

色

自由文字の色を設定します。

表設定

「表設定」画面を呼び出し、表枠を編集します。

座標値丸め設定

各枠の位置や大きさを、座標単位で調整します。

表示

表示(V)

グリッドの表示を行う(Q)

グリッドの表示を行う

座標値丸め設定を設定している場合にのみ、ヘッダー作成領域をグリッド表示します。

索引

X

XML連携設定のみを変更する.....	39
XML連携を設定する.....	19

あ

新しくヘッダーのレイアウトを作成する.....	25
新しくレイアウトを作成する.....	2
アルバムのレイアウトを作成する.....	1

お

表枠を作成する（ヘッダー）.....	30
表枠を作成する（レイアウト）.....	16
表枠を設定する（ヘッダー）.....	32
表枠を設定する（レイアウト）.....	23

く

グリッドに合わせて写真（図）枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠のサイズ、位置を固定する.....	10
グリッド表示してヘッダーレイアウトを編集する.....	30
グリッド表示してレイアウトを編集する.....	12

こ

固定画像・表枠・自由文字枠のサイズ、位置を変更する.....	31
固定画像を貼り付ける.....	30

さ

作成済みのヘッダーレイアウトを使って新たに作成する.....	26
作成済みのレイアウトを使って新たに作成する.....	5

し

写真（図）枠にタイトル枠を設定する.....	21
写真（図）枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠とは.....	1
写真（図）枠・文字入力枠・自由文字枠・表枠のサイズ、位置を変更する.....	17
写真（図）枠を作成する.....	13
写真（図）枠を設定する.....	20
写真の縦横比に合わせた写真（図）枠を設定する.....	22
自由文字枠を作成する（ヘッダー）.....	31

自由文字枠を作成する (レイアウト)	15
--------------------------	----

ふ

「フレーム拡大」画面で編集する (ヘッダー)	29
「フレーム拡大」画面で編集する (レイアウト)	11

へ

ヘッダーのレイアウトを作成する	25
ヘッダーのレイアウトを修正する	28
ヘッダーのレイアウトを編集する	29
ヘッダー/フッターのみを変更する	38
ヘッダー/フッターを設定する	18
ヘッダー名を入力する	33

も

文字入力枠を作成する	14
------------------	----

よ

用紙を設定する (ヘッダー)	29
用紙を設定する (レイアウト)	9

れ

レイアウトデータをコピーする	34
レイアウトデータを保存する	34
レイアウトデータを読み込む	35
レイアウトの編集をする	9
レイアウト名を入力する	24
レイアウトを修正する	7

工事写真館 使用説明書（設定操作編）
2017/09/01 改定 Ver. 6.7

Windows7/8.1/10は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の会社名、製品名は、各会社の商標または登録商標です。
本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
Copyright©2006-2017 Ricoh IT Solutions Co., Ltd. All Rights Reserved.